

家畜市場 価格の推移

(10月)

▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立	取引	最高	最低	平均	体重
スモール	雌	16	16	100.0%	35,640	1,080	9,518
	雄	257	225	87.5%	57,240	1,080	25,979
計	273	241	88.3%	57,240	1,080	25,014	63
F1	雌	239	220	92.1%	168,480	5,400	126,681
	雄	286	263	92.0%	218,160	12,960	168,559
計	525	483	92.0%	218,160	5,400	149,495	61
ホルス(5才) 雌	66	66	100.0%	399,600	98,280	234,033	728

▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
根室	2日	358	296	82.7%	726,840	290,520	538,026
十勝	6日	502	380	75.7%	815,400	189,000	544,471
南北海道	10日	135	102	75.6%	734,400	325,080	503,513
豊富	16日	323	166	51.4%	603,720	385,560	500,073
根室	20日	439	328	74.7%	736,560	379,080	559,091
釧路	21日	261	200	76.6%	649,080	326,160	528,298
十勝	22日	508	395	77.8%	840,240	259,200	558,543
北見	23日	451	272	60.3%	616,680	325,080	502,442
合計		2,977	2,139	71.9%	840,240	189,000	529,307

業務報告(10月分)

- 1日 辞令交付
- // フードフェスティバル出展者説明会
- 2日 西部家畜診療所運営協議会
- // 庄原市酪農連絡協議会役員会
- 6日 JAグループ改革プラン検討専門委員会
- // 県共地元協議会
- 7日 全酪連事業推進委員会
- // JA農政官農役員部課長合同会議
- 9日 府中市飼料イネ視察研修会
- // 広酪西部ミルク会役員会
- 12日 Jミルクセミナー
- 14日 JAグループ改革プラン検討専門委員会
- // SaaS(WE B版DMS)職員向け説明会
- 15日 中販連実務責任者会議
- 16日 山陽乳業(株)経営検討会
- // 牛乳料理コンクール広島県大会
- // ヘルパー調整会議
- // 北広島町酪農団体連絡協議会役員会
- // 千代田酪農協議会役員会
- 19日 MILK●JAPANAひろしま二〇一四
- 20日 全酪連酪生研修会
- 21日 九州・沖縄酪農団体協議会との意見交換
- 24日 TMR利用者意見交換会
- 25日 フードフェスティバル二〇一四(二日間)
- 27日 都府県酪農経営国産粗飼料利用体制強化事業ブロック会議
- // 地理的表示法ブロック説明会
- 28日 第九十回広島県畜産共進会
- 29日 中販連理事会・生乳受託販売委員会
- 30日 消費者生活広島コンファレンス
- 31日 西部酪酪会研修会

編集後記



▼また、にわかにTPP交渉が各社新聞記事で取り上げられるようになって来た。

▼先日は、米国の中間選挙で共和党が圧勝し、オバマ大統領の政権統投に警笛が寄せられた感は否めない。

▼共和党の圧勝で完全ねじれ国会となり、農業筋の元論説員からは自由貿易の加速化が進むことへの懸念を指摘していた。

▼共和党の指示組織として『ファーム・ビュー』という農業団体があるそうだが、この組織、同党に対して農産物輸出など圧力を加えられる組織でTPP交渉を加速させるようになるのではと懸念と脅威を指摘していた。

▼来年二月は、TPP交渉の決着に向けて加速を議論されているようだが、顧みて2012年末の総選挙で自民党は「ウソつかない。TPP断固反対。ブレナイ」というポスターを全国各地に貼り、酪連、JA、農業団体の支持を取り付けて政権を奪還した。

▼しかし、2013年2月、日米首脳会談でオバマ大統領に交渉参加を約束し、今日に至っており、どうも政権運営に対して信用しがたいとの声も聞こえる。皆さんはどうでしょう。

▼国内では、平成二十七年十月の消費税増税10%の議論も賑やかになっており、日本銀行黒田総裁の金融緩和策に為替相場は百十五円の円安、株価も上昇と経済は好転していると発信しているようで、10%容認せよとのメッセージに聞こえてくる人もあるのでは？

▼十一月月上旬には、中国北京でアジア太平洋経済協力会議(APEC)首脳会議が行われ、日本からは安倍総理

市町別生乳受託量の進捗状況(10月)

(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	26年度累計	前年比(累計)
庄原市	884.2	21.8%	95.9%	6,668.8	99.8%
三次市	767.8	18.9%	92.6%	5,693.2	94.3%
世羅町	560.4	13.8%	105.3%	3,981.7	107.3%
北広島町	414.6	10.2%	93.1%	2,833.7	85.5%
安芸高田市	380.3	9.4%	99.6%	2,651.6	98.2%
東広島市	353.6	8.7%	92.5%	2,575.9	103.1%
府中市	213.6	5.3%	96.1%	1,598.7	92.1%
福山市	119.8	2.9%	96.8%	876.1	97.2%
三原市	95.6	2.4%	94.8%	683.4	88.2%
広島市	93.2	2.3%	48.3%	702.5	52.9%
神石高原町	77.6	1.9%	89.8%	612.4	89.5%
呉市	52.3	1.3%	98.7%	365.8	104.1%
廿日市市	51.6	1.3%	83.1%	413.3	95.8%
合計	4,064.6	100.0%	93.8%	29,657.2	95.2%

プール乳価(10月)

10月分プール乳価	前月分プール乳価	前月対比
108.74円/kg	109.134円/kg	99.6%

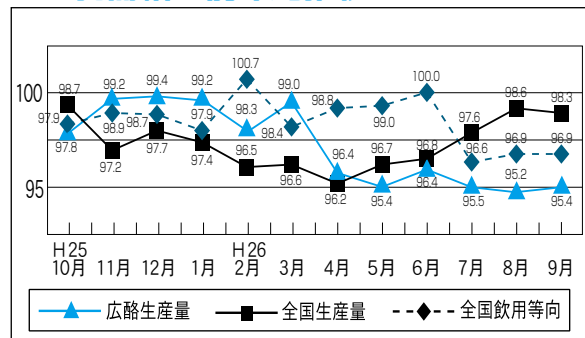
生乳受託実績(10月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	44	12	45	45	146
生乳出荷量(トン)	1,470.4	405.9	939.7	1,248.6	4,064.6
前年同月対比(%)	95.8%	93.3%	86.8%	97.4%	93.8%
前月対比(%)	100.9%	101.6%	106.1%	101.8%	102.4%
生乳出荷累計(トン)	10,940.6	2,941.7	6,601.1	9,173.8	29,657.2
広酪構成比(%)	36.9%	9.9%	22.3%	30.9%	100.0%

市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(9月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(トン)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	47,523	884	28.20%	53.7
2	三次市	35,499	764	21.10%	46.4
3	安芸高田市	20,439	361	12.10%	56.6
4	北広島町	15,844	378	9.40%	41.9
5	府中市	15,546	207	9.20%	75.1
6	東広島市	6,922	349	4.10%	19.8
7	世羅町	6,820	540	4.10%	12.6
8	福山市	5,749	112	3.40%	51.3
9	三原市	5,455	97	3.20%	56.2
10	神石高原町	3,977	77	2.40%	51.6
11	廿日市市	3,199	52	1.90%	61.5
12	広島市	919	93	0.50%	9.8
13	呉市	328	49	0.20%	6.6
合計		168,227	3,968	100.0%	41.8

生乳需給の前年比推移(9月) (単位:%)



▼ が出席し、安倍総理と中国の習近平国家主席が握手する姿がテレビで報じられたが、笑顔は無く表情が硬いものに映った。

▼ グローバル経済の中で、日本国の舵取りはどちらに向かうのか、多方面に亘る交渉において、日本国民に対して、決して不利益が生じないことを願ってやまない。

▼ 酪農経営においては、平成二十六年乳価交渉は来年度交渉に持ち越された格好である。

▼ 中国生乳販連も、生乳全用途換算で生乳1kg当たり五円以上の乳価を勝ち取るため各乳業者との間に百回を超える交渉をもったようだが、酪農家への神風となったの朗報は届かぬまま、来年度を見据えた交渉さえ示唆されている。

▼ 平成二十六年度、明治株のトップが、生乳生産基盤の行く末を捉えてか「今や酪農家と乳業者は車の両輪では無く一体である」と発信されたとか。有り難い言葉である。

▼ この発信の言葉を「対価」をもって表現してほしいと願ってやまない。

▼ 現状、酪農経営の生乳部門は薄利、又はそれ以上の厳しさがあるが、これを支えているのが交雑種などの売価が高値で安定を続けているからであらう。

▼ ひとたび、「口蹄疫やBSE問題が襲来したならば」と考えると、ゾッとしてくる。

▼ 国民の一人として、政治、経済の動向に関心の糸を切らさないようにしたい。

▼ 「縦の糸はあなた、横の糸は私」となり、総てうまく紡がれることを願って。